

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4572100842
法人名	医療法人社団 慶城会
事業所名	グループホーム 仰星台 入綾
所在地	宮崎県日向市東郷町山陰丙1494-1 (電話) (0982) 50-7080

評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎市和知川原1-101
訪問調査日	平成19年9月26日(水)

## 【情報提供票より】(19年 9月 13日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 2月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	7 人 常勤 7人・非常勤 0人・常勤換算 7人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋造り
	1階建ての 1階 ~ 1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概数(9月26日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	79歳	最高	92歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団慶城会 瀧井病院、土田歯科クリニック
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、交通量の多い道路沿いにあるが、南側は耳川の堤防沿いになり、川の向かい側の冠岳の自然の緑を居室から臨むことができ、環境に恵まれたところにある。近くには市立病院、地域自治センター、消防団等あり、又農村公園(物産館含む)が近くにあり利用者とともにドライブを兼ねて一週間に2回は買物に出かけている。利用者が入居前に利用していた、お店や理容店等続けて利用するなど地域での馴染みの関係を大切にした支援をしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念について、地域のなかで、支え合う関係作りは深められ取り組まれている。さらに理念を分かりやすく言葉として表現し、地域の人や家族、職員で共有できるよう取り組んでほしい。また「ホーム便り」を作成して、家族への報告や広報活動に活かしてほしい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者を中心に全職員で勉強会を開き、評価の目的・意義を理解し、一体となって自己評価に取り組んでいる。今後外部評価の結果について改善点は、話し合い、検討することになっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、家族代表、公民館館長、民生委員、地区消防関係者、地域自治センター職員、包括支援センター職員等をメンバーにして開催している。前回出された検討事項については、次の会議で、取り組みの経過を報告するようにして、サービスの向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月利用者の状況について様子を知らせ、又、面会時には意見等出させていただくよう声かけをしている。運営推進会議にも参加して意見を出していただくようにしている。苦情等は積極的に聞いて対応しているが、対応・経過について、記録に残し、全体的な運営に活かす取り組みを行ってほしい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームは自治会に加入して、回覧板を回したり、野菜等の差し入れがあったり、地域に溶け込み日常的な交流が行われている。地元の夏祭り等に参加し、また地元の保育園との交流も図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で、なじみの関係の中で、安心した生活が続けられるように支援を行っているが、「理念」として作り上げられていない。	<input type="radio"/>	地域の人々と溶け込み実践されているが、理念そのものに言葉がないので、職員や家族・地域の方々にも分かりやすい「理念」を作り上げてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングでは、利用者一人ひとりのペースに合わせてその人らしい生活が送れるよう具体的なケアについて話し合っているが、「理念」と絡めての意識づけは取り組まれていない。	<input type="radio"/>	地域密着型サービスとして、「理念」の見直しとつくりあげをしようとしているので、この取り組みの中で、「理念」を深め、管理者・職員で共有を図ってほしい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入して地域の夏祭りなどの行事に参加している。地元の保育園にホームの施設を紹介し、交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の勉強会、研修会の報告会等で、外部評価の意義・目的について話し合い、自己評価に取り組んでいる。今後評価結果の改善点について検討することになっている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3～4か月に1回、出席者は、公民館長、民生委員、消防署、地域包括支援センター、市保健福祉課長、家族の代表者、管理者、職員で開催し、ホームの状況等を報告し、意見を出していただいている。	<input type="radio"/>	定期的な開催ができるよう工夫してほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への出席を依頼したり、情報交換を中心に連携をとっている。	○	市町村担当職員、ホームの職員ともに異動があったりするので顔合わせなど日常的な連携作りを進めてほしい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書を送る際には、家族へホームでの写真を一緒に同封して様子を伝えている。ホーム便等は、作っていない。		個々にあわせた報告のほか、「ホーム便り」を作成してさらにホームの様子や状況がわかるように工夫してほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席して、意見等出していただくようにしている。また訪問時には、苦情や意見が出しやすいように声かけをしている。玄関に苦情ボックスを設置している。		家族会をつくったり、さらに意見等出しやすくする工夫をしてほしい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際は、引継ぎを十分行いスムーズに移行できるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望に添って各研修に参加できている。職員は参加に積極的であり、意欲的にホームの質の向上を目指して取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回他施設との意見交流、情報交換を行っている。同法人の他のホームとの管理者会議が月に1回あり、意見交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族ともに安心して気軽に来ていただける雰囲気作りを管理者を中心に取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の大先輩であることから教わる事が多く、そのような場面を多く作れるよう声かけ、行事など参加しながら、支えあう関係を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、声掛け、把握に努めている。又寄り添いそれとなく支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が自分らしく暮らせるよう、本人、家族から話しを聞くなどして毎月の職員会議で意見交換して、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的ではないが、職員が記録する本人の状態、状況を家族・本人に報告して本人が良ければ要望に応じて介護計画を見直ししている。	○	利用者の状態に変化のない場合にも、日々の記録を活かして1か月ごとに評価を行い、定期的に計画の見直しを行なってほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診の付き添い、送迎、音楽療法士(ボランティア)の月1回の訪問、など必要な支援には対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に合わせ、必要な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に事業所で対応できる範囲について説明している。重度化や終末期に向けて対応の方針の共有にはまだ取り組まれていない。		重度化や終末期の対応の方針について、必要な段階で繰り返し関係者で話し合い、共有を図るようにしてほしい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの人格を尊重し、さりげない対応が実践されている。個人情報等の記録物も第三者の目に触れない場所に保管してある。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床時間等決めずに、その人らしいペースで生活を送れるよう見守り支援している。晩酌等もその人に合わせ行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に買物に行き、材料の下準備、味付け等一緒に手伝ってもらって食事を作っている。利用者の状態に応じて、きざみ食など食べやすく工夫している。職員も一緒に楽しみながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの意志を大切にしてい入浴できるよう声掛けし、入浴中も興味のある話しをして楽しく入浴できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片付け、日中の生活の中で興味あることや、音楽療法など楽しみ事を引き出し支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な買物や、天気の良い日などドライブに出掛けたり、色々な行事、祭りなど戸外にて楽しめるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵はかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、場所の確保、消火器の使い方の訓練を実施している。	○	地域の方々の協力をお願いし、合同の避難訓練も取り組んでほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食事と水分がとれるよう、一人ひとりの状態や力をみながら対応をしている。状態によっては流動食にしたり、刻んだりして工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは明るく、フローアは広くゆったりとしている。フローアの飾りつけなど利用者と一緒にして、又行事の写真を壁に貼り、紙の花飾りなどで家庭的な雰囲気にし居心地よく工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、家族も宿泊できる。利用者の家具、使い慣れた調度品の持ち込み、居心地良く過ごせるように工夫している。		